

小田原市立芦子小学校

授業の実施概要

日時	2021年3月12日	時間	45分	授業者	教諭、がん経験者
人数	27名×3クラス	場所	多目的室	構成	知識＋経験談＋Q&A
対象	小学6年生	科目	特別活動	講師	岩澤玉青 (P.17)

授業のねらい

がんについての正しい知識を理解する。
生きること、健康と命の大切さについて考える。

経験談

がん患者のを知ることで、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。



授業の流れ

導入	2分	①授業のねらいを伝える (T1:学級担任) ②がんについての正しい知識を得ることの重要性を喚起する (T1)
展開①	15分	映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」を視聴
展開②	25分	①がん経験者の経験談「がんが教えてくれたこと」(がん経験者外部講師) ②事前アンケートによる児童の質問に答える(がん経験者外部講師)
まとめ	3分	・がん経験者からのメッセージを受け止め、まとめる (T1) ・授業を振り返り、これからの生活につなげる (T1)

合計 45 分

事後の取り組み 児童は学んだことをワークシートに記入し、本日の学習内容を家族と共有する(家庭学習)

児童の声 (一例)

- ・健康でいるために運動や食べ過ぎに注意して正しい生活習慣を身に付けたい。
- ・もし自分ががんになったら、他の人と比べたりせずに自分らしく生きたいと思った。
- ・岩澤さんが一番つらかったのは「かわいそう」という言葉だったので、日常でも言葉を選ぶことが大切だと実感した。
- ・友達ががん患者になったとしても、いつも通り何気なく相手に負担をかけないように接したい。
- ・がんやがん患者さんのことをもっとよく知って、がん患者さんに寄り添える優しい人になりたい。

相模原市立谷口台小学校

授業の実施概要

日時	2022年10月5日、6日	時間	45分	授業者	教諭 (T1、T2)、がん経験者
人数	37名×2クラス	場所	教室	構成	知識＋経験談＋Q&A＋まとめ
対象	小学6年生	科目	道徳科	講師	岩澤玉青 (P.17)

授業のねらい

がんを正しく知り、がん経験者の話から生きることの喜びや力強く生きることの学び、自分や他人のかけがえのない命について思いやる心を育む。

経験談

自他の命を大切にしていきたいという気持ちを育むとともに、自分や大切な人のために何ができるのかを共に考える。



授業の流れ

導入	3分	①がんのイメージについて共有し合う (T1:学級担任) ②授業のめあてを説明する (T1)
展開①	10分	がんについて基礎知識を学ぶ (T2:がん研究者 (順天堂大学・医・免疫診断学))
展開②	25分	①実際にがん経験者の話を聞く(がん経験者外部講師) ②質疑応答(がん経験者外部講師) ③感想や思ったことをノートにまとめる(机間指導を行う)
まとめ	7分	①考えを共有する ②この授業を受けていない人にがんのことを伝える方法について考える

合計 45 分

事前学習 文部科学省 小学校版がん教育プログラム補助教材①「がん博士の『がんについての基礎知識』」視聴

事後の取り組み 授業後に家で話をする。周りの人に伝えるポスターなどを作成する等。

児童の声 (一例)

- ・最初は怖いというイメージだったけど、周りの協力が大切というイメージが変わった。
- ・がんはとても怖い病気だけど、身近なところから予防でき、早期発見が可能である病気だと知った。
- ・がんになると悲しい気持ちになったり、つらいときもあったりすると思うけれど、がん患者の全員が全員、不幸せではないということがわかった。
- ・身近な人や家族ががんになったら、いつも通りに接していきたい。
- ・がん患者は、がんを治すために努力している人たちだから、そこに「健康な人と違う」というイメージは持ってほしくない。